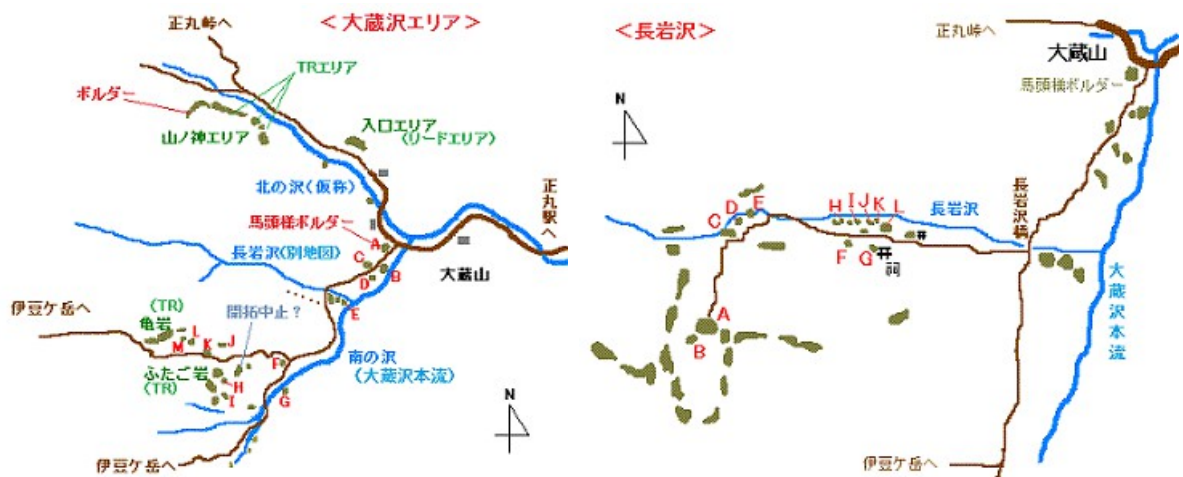


奥武蔵正丸 大蔵沢の岩場概要

2016.3.24 retK



大分昔になるが、西武線正丸から南側に大蔵沢に入っていくと、大蔵山という集落があり、その奥にある岩場に何回か行ったことがある。

大小多数の岩やボルダーが沢や山の斜面にあり、掃除をしながら楽しんだが、多分現状は自然に帰っていると思われる。一応、薦めるわけではないが、こんなところがあるという情報提供の意味合いで、簡単に概要を紹介する。

なお、ここは地権者の許可を得ているわけではないので、もし行く場合は、ちょっとのんびり遊んで帰ってくるというような感覚で行ってもらうのが良いと考える。

アクセス上の一番の難点は、近くに駐車場が無いことである。一応、車の場合は R299 から大蔵山方面に入りトンネルを過ぎて、少し先の右側に何台か駐車出来るスペースがある。それから奥には駐車できる場所はない。時間があ、徒歩が苦にならない人なら、正丸駅から歩いて行っても良い。

地図では、大蔵沢(北の沢と南の沢)とその支流である長岩沢を分けてある。

○大蔵沢の岩場&ボルダー

伊豆ヶ岳に直接登る登山道(本流側)と正丸峠への分岐には馬頭様ボルダーがあり、これは大分前からトライされていたようである。

まず、北の沢(仮称)側のエリアは、正丸峠への登山道を民家の間を抜けて入っていくと、右に北川の岩場で知られたN氏が開拓したエリア(入口エリア、12aのラインあり)があり、さらに入っていくと登山道左側に岩が立ち並ぶ「山の神エリア」となる。ここは何本かリードラインが作られたが、許可を得ていないため、一応ハンガーが外してある。

本流側(南の沢)は馬頭様から伊豆ヶ岳に直接登る登山道に入っていく。まず、直ぐ左にハイボルダーがあり、その先は小さなボルダーが続く。右から入る長岩沢を見送り、その少し先で登山道が分岐する。ここから沢と分かれ、右の山側の登山道に入り登って行く。暫く行くと大きな岩(ふたご岩)があり、トップロープで遊べる。

この周辺には幾つかボルダーもあり、また、ボルトが打たれた大きめの岩が1つ(N氏が開拓?)ある。この岩は開拓中なのか放棄したのか良く分からないので、手を付けないほうが良いと思われる。ふたご岩からさらに暫く登ると、大きな岩壁(亀岩、トップロープ)が見えてくるが、そこまでに幾つかボルダーがあり遊べるが、ちょっと距離的には遠い感がある。

○長岩沢のボルダー

長岩沢橋を渡り、大蔵沢本流から分かれ右に入っていくと祠があり、その周辺に幾つかボルダーがある。さらに行くと沢の中にもボルダーがあり、ちょっと高捲いて降りたところに、沢を塞ぐ感じで少し大きめのボルダー(C岩)がある。そこから沢の左の窪んだ斜面を少し登ると、長岩沢ボルダーの象徴的存在である適度にハングしたA岩がある。この岩は特に大きいわけではないが、下も安定しておりいろいろと楽しめる。お薦めのボルダーだが、ちょっと遠いのが残念である。

※写真は、長岩沢の最奥のボルダー(A岩)

